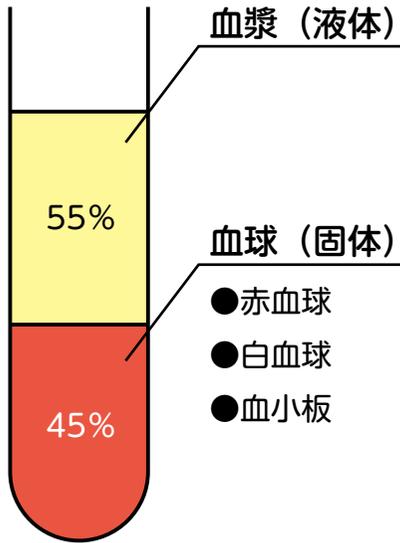


■血液の成分

血液は、人間の体に必要な酸素や栄養分を体中に運んでいます。



血漿

- 体内の炭酸ガスを肺へ運び、組織呼吸で空気中に放出
- 栄養分を体の各部に運ぶ
- 老廃物を腎臓から排出

赤血球

- 肺で酸素を取り込んで、体の各部へ運ぶ

O₂ぼうや



赤血球のせっちゃん

白血球

- 体内に侵入した細菌やウイルスを消化・殺菌



白血球のはっちゃん

血小板

- 血管が損傷したときに、血管をふさいで出血を止める



血小板のぼんちゃん

■血液型

血液には、いろいろな型があります。

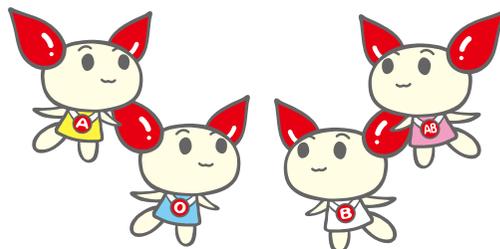
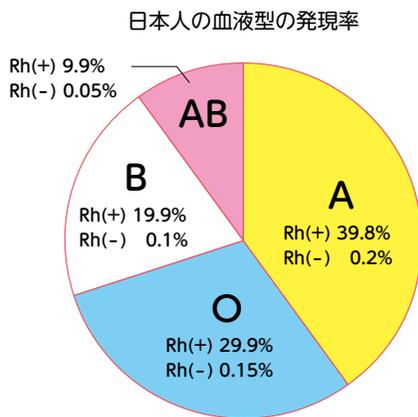
【主な血液型】

■赤血球の型：ABO型、Rh型

■白血球の型：HLA型

輸血をするときは、誰の血液でも良いというわけではありません。

同じ血液型の血液を輸血しないと、重い副作用が生じてしまいます。



下の2つの血液型を合わせて、輸血をします。

ABO 型

Rh 型

■献血の種類

献血には4つの種類があります。

全血
献血

400mL
献血

200mL
献血

血液中全ての成分を採血する方法です。

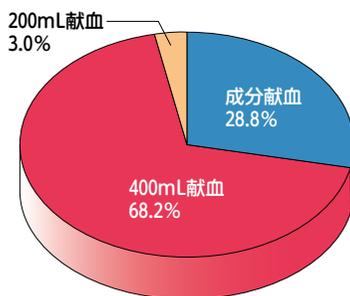
成分
献血

血小板
成分献血

血漿
成分献血

血小板や血漿だけを採血する方法です。体内で回復するのに時間のかかる赤血球は再び体内に戻します。

献血種類別の構成比 (2018年度)



(日本赤十字社調べ)

■採血基準

この採血基準に当てはまる場合に献血ができます。(問診などの結果では献血できないこともあります。)

これは、献血者の健康を保護するために設定されています。

採血基準の主なもの

		200mL献血	400mL献血	成分献血
年齢	男	16歳から	17歳から	18歳から
	女		18歳から	
体重	男	45kg以上	50kg以上	45kg以上
	女	40kg以上		40kg以上

16歳から献血
できるっち!



■血液製剤の種類

献血で集められた血液は、さまざまな薬となって、患者さんのもとに届きます。

いただいた献血血液の

50% 50%

輸血用血液製剤

赤血球製剤

- 保存温度 2~6℃
- 有効期間 採血後21日間



出血および赤血球が不足する状態、またはその機能低下による酸素欠乏のある場合に使用されます。

血小板製剤

- 保存温度 20~24℃
- 有効期間 採血後4日間
- 要振とう



血小板の減少またはその機能低下による出血ないし出血傾向のある場合に使用されます。

血漿製剤

- 保存温度 -20℃以下
- 有効期間 採血後1年間



複数の血液凝固因子の欠乏による出血ないし出血傾向のある場合に使用されます。

全血製剤

- 保存温度 2~6℃
- 有効期間 採血後21日間



大量出血などすべての成分が不足する状態で、赤血球と血漿の同時補給を要する場合に使用されます。

血漿分画製剤

血液凝固第Ⅷ因子製剤



血友病などに使われます。

アルブミン製剤



やけどやショックなどの場合に使われます。

免疫グロブリン製剤



重症感染症、川崎病、ある種の神経疾患、免疫機能が低下した場合などに使われます。

その他

献血血液の半分は輸血以外に使われています。

